

# 令和8年東伊豆町議会第1回定例会

一般質問 4名 9問

○令和8年2月12日（木）午前9時30分開会

1 楠山 節雄 議員

- (1) 新年度の予算編成について
- (2) 学校統合後の教育の在り方について
- (3) 細野高原の利活用について

2 西塙 孝男 議員

- (1) 小中学校統合後の校舎について
- (2) 稲取池尻海岸のトイレについて

3 山田 直志 議員

- (1) 福祉避難所について
- (2) 奈良本地区の風力発電事業の検証について

4 鈴木 伸和 議員

- (1) 「ノッカルひがしいず」について
- (2) 東伊豆町の台湾トップセールスについて

## 令和8年第1回定例会 一般質問通告

受付順 1	楠山 節雄 議員
質問事項	質問要旨
1 新年度の予算編成について	<p>岩井町長は12月の定例議会でも町長選挙への出馬を明言しなかつた。その時点ではすでに担当課局においては新年度の予算編成が行われている。出馬表明をしていなかった町長だが以下について伺う。</p> <p>(1) 次期町政の方向性が未確定で新町長が決まらない中、原課にはどのような基本的な考え方・責任認識で予算編成の指示を行なったのか。</p> <p>(2) 新年度の予算編成はどこまで踏み込んだ予算を組み込むべきと考えたのか。また、大型事業や長期的財政負担を伴う施策についてどのような判断基準を設けたのか。</p>
2 学校統合後の教育の在り方について	<p>学校統合については町民の様々な考えがある中、教育委員会では用地も含め検討中である。</p> <p>学校統合を進める上で単に学校規模の適正化を図るだけでなく統合することでどのように教育の質が向上するのかを具体的に示すことも重要だと考えるが以下について伺う。</p> <p>(1) 教育の質の向上について教育委員会の考えは。</p> <p>(2) 先に幼・小・中の保護者に対して、私たち文教厚生常任委員会では学校統合に関するアンケート調査を実施した。多くのご意見をいただいた中、教育の充実を望む声が大きかったことがわかった。教育の質の向上の点で英語教育を充実すべきと考えるがいかがか。</p>
3 細野高原の利活用について	<p>当町の誇れる素晴らしい景観や、壮大なススキ草原は貴重な観光資源であり更なる交流人口の拡大を図る上で道路アクセスの改善は不可欠であると考える。細野高原の利活用については細野高原みらい協議会を立ち上げ、様々な利活用等について検討が行われていると推察するが現状を打破することが細野高原を訪れる人の増加につながると考えている。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 細野高原までのアクセスは道路の狭隘が指摘され改良を進めてきたところである。以前から比べると使いやすい道路になってきているが多くの訪問者に対応できない状況下にある。そこで過去にゴルフ場から細野高原までの進入道路計画のもと工事実施されたが軟弱な地盤によりのり面の崩落が続き断念した経過がある。当時に比べ工事技術も格段に進化した今日、改めて進入道路の検討を行う考えは。</p>
答弁を求める者 町長・教育長	
掲示板使用有り	

## 令和8年第1回定例会 一般質問通告

受付順 2	西塙 孝男 議員
質問事項	質問要旨
1 小中学校統合後の校舎について	町の方針は熱川地区へ小・中学校を作ることになっているが、新しい学校を建設するのか、現状の学校をリニューアルして使用するのか、また工事中は一時的に稻取中学校を使用するのか。
2 稲取池尻海岸のトイレについて	使用禁止になって3カ月が経つが、いつから工事が行われるのか伺う。
答弁を求める者 町長	

## 令和8年第1回定例会 一般質問通告

受付順3	山田 直志 議員
質問事項	質問要旨
1 福祉避難所について	<p>頻発する災害において、最も深刻な影響を受けるのが、高齢者、障害者などの災害弱者である。</p> <p>そこで、高齢者・障害者の避難先となる福祉避難所の想定等がどのようにになっているのか質問する。</p> <p>(1) 福祉避難所は、町に何か所あるか。それぞれ何人受け入れが可能か。</p> <p>(2) 福祉避難所への感染症、熱中症、衛生環境等の対策で、備品等の支援は、どのようにしているか。</p>
2 奈良本地区の風力発電事業の検証について	<p>先の定例会でも質問した奈良本地区の風力発電事業の検証について質問する。</p> <p>(1) 事業を審査した土地利用委員会に、事業者は騒音・低周波について、どのように説明していたか。</p> <p>(2) 町、事業者、自治会で構成された3者協議会を通じて、事業者が行ってきた夜間における3基の停止と2基の軽減運転は、口頭で行われてきたが法的な契約行為に該当するか。</p> <p>(3) 町と事業者が結んだ環境協定書では、騒音や協議についてどのように書いてあるか。</p>
答弁を求める者 町長 配布資料有り 掲示板使用有り	

## 令和8年第1回定例会 一般質問通告

受付順4	鈴木 伸和 議員
質問事項	質問要旨
1 「ノッカルひがしいず」について	<p>ご近所さんの自家用車でのお出かけのついでに「乗っかる」ことができる助け合いの気持ちをカタチにした公共サービスとして令和6年2月から開始している「ノッカルひがしいず」。今後、利用区域を拡大するとしているが、様々な問題を含んでいると考える。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) なぜこの事業者のシステムだけが、東伊豆町の実情に適していると考えたのか。</li> <li>(2) 実証実験も行わずに本格導入した理由は何か。</li> <li>(3) 一般ドライバーが増えない理由は。</li> <li>(4) このシステムの開発事業者と町長との関係は。</li> </ul>
2 東伊豆町の台湾トップセールスについて	<p>当町は、前町長時代より近隣市町と共に台湾へのトップセールスを実施している。また、令和6年4月、熱川温泉で「熱川台湾提灯プロジェクト」が始まった。台湾観光庁・観光協会の協力のもと九份の幻想的な風景を毎晩楽しめるようになった。毎月行われる「湯けむり夜市」も定着するべく関係者各位の努力で活動が活発になってきている。しかしながら、町民や議会に説明のない団体との覚書の締結など、台湾に特化しすぎでは。という声もある。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 近隣市町と一緒にを行うトップセールスと当町単独との違いは。</li> <li>(2) 台湾に特化する理由は何か。</li> <li>(3) 昨年の10月30日から11月3日に行かれた台湾出張はどう言う経緯で行ったのか。</li> <li>(4) この台湾出張にかかった費用はいくらか。また、当初予算のどの項目に当たるか。</li> <li>(5) この台湾出張の4日間の行程は。</li> </ul>
答弁を求める者 町長	